

# 第十八回日本近代仏教史研究会研究大会

日時 平成二十二年五月二十二日（土） 十時～十七時三十分〔受付開始九時三十分〕

会場 國學院大學渋谷キャンパス 学術メディアセンター一階 常磐松ホール

渋谷駅から徒歩約十三分 都営バス（渋谷駅東口バスターミナル五四番のりば 学〇三 日赤医療センター行）「国学院大学前」下車

参加費 千円（会員以外の方もご参加いただけます）

シンポジウム 「問い直される近代仏教」 （十四時三十分～十六時三十分）

発題1 大谷栄一（佛敎大学） 「近代仏敎史研究の現状とその課題」

発題2 藤田大誠（國學院大學） 「神道史からみた近代仏敎」

発題3 菊地暁（京都大学人文科学研究所） 「人類学史（研究）からみた近代仏敎（研究）」  
司会・コメンテーター 林淳（愛知学院大学）

個人発表

①陳継東（武蔵野大学）

「『北京護法論』の二つのテキスト」

②碧海寿広（宗教情報リサーチセンター）

「仏敎日曜学校の実践―大正期を中心に―」

③梁明霞（國際日本文化研究センター）

「日露戦争前後の宗教界の戦争観―『新仏敎』と『六合雑誌』を中心に―」

④オリオン・クラウタウ（日本学術振興会・外国人特別研究員）

「村上專精と『日本仏敎の特色』」

⑤戸浪裕之（國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター）

「島地黙雷と白蓮敎会」

主催・日本近代仏敎史研究会

問い合わせ先（藤田大誠） 電話 〇四五―九〇四―七六六五

共催・國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター

E-mail tudita@kokugakuin.ac.jp